

高等学校 芸術（書道）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～ 大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～ 大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は **1** 」と表示のある問題に対して、「**3** 」と解答する場合は、解答番号 **1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I

次の図版A～Eについて、(1)～(3)の問いに答えよ。

図版A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅲ

高木聖雨他16名著 光村図書
40ページ1行目から2行目まで

図版B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

關正人他14名著 教育図書
109ページ1行目から3行目まで

図版C

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書の古典と理論

小泉茂他著 光村図書
79ページ1行目から2行目まで

図版D

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅱ

石飛博光他13名著 東京書籍
24ページ2行目から3行目まで

図版E

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅲ

石飛博光他13名著 東京書籍
17ページ1行目から3行目まで

- (1) 図版AとEを古いものから時代順に並べたとき、正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

1

- | | | | | | |
|---|-------------------|---|-------------------|---|-------------------|
| 1 | D ↓ C ↓ A ↓ B ↓ E | 2 | A ↓ C ↓ D ↓ B ↓ E | 3 | C ↓ D ↓ A ↓ B ↓ E |
| 4 | A ↓ C ↓ D ↓ E ↓ B | 5 | D ↓ A ↓ C ↓ E ↓ B | | |

- (2) 図版Bの筆者の説明として、正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

2

1 江戸末期の書家。字を菱湖と号した。独自の唐様の書風を確立。著作に『十体源流』などがある。

2 伏見天皇の第六皇子。その書風は青蓮院流として一つの大きな書流となり、江戸時代には御家流と呼ばれた。その著作に『入木抄』がある。

3 朱子学と書を学び、とくに書は、中国宋代の米芾に傾倒した。「幕末の三筆」の一人で、著作に『米庵墨談』などがある。

4 能書家として知られ、扁平な字形と重厚な筆勢を特徴とする書風は「法性寺流」の名で平安末から鎌倉中期に盛行した。

5 室町中期の臨済宗大徳寺派の僧。詩集に『狂雲集』『続狂雲集』がある。

- (3) 図版Cの作品名と筆者名の組合せとして正しいものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

3

- | | | |
|---|-----------|------|
| 1 | 「離洛帖」 | 藤原佐理 |
| 2 | 「屏風土代」 | 小野道風 |
| 3 | 「白氏詩卷」 | 藤原行成 |
| 4 | 「伊都内親王願文」 | 伝橘逸勢 |
| 5 | 「忽恵帖」 | 空海 |

次の図版A～Hについて、(1)～(3)の問いに答えよ。

図版A

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅱ 石飛博光他13名著
東京書籍 26ページ

図版B

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅱ 石飛博光他13名著
東京書籍 23ページ

図版C

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅱ 石飛博光他13名著
東京書籍 26ページ

図版D

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅱ 石飛博光他13名著
東京書籍 18ページ

図版E

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅰ 關正人他14名著
教育図書 63ページ

図版F

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅲ 角井博他著
教育出版 19ページ

図版G

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅲ 石飛博光他13名著
東京書籍 30ページ

図版H

著作権保護の観点により、
本作品を掲載いたしません。

出典：書道Ⅱ 石飛博光他13名著
東京書籍 15ページ

(1) 図版A～Hの作品に関する説明として正しいものはどれか、正しい組合せを1～5から一つ選べ。

解答番号は 4

- ア 図版AとGの筆者は同時代の人物である。
- イ 図版Bの筆者の作品は、この他に「晋祠銘」がある。
- ウ 図版Cの筆者の他の作品として、「洛神賦十三行」がある。
- エ 図版Eは、図版Fの筆者の作品について文徵明が書いた跋文である。
- オ 図版Gの成立年代は前漢時代である。

- 1 ウ・オ
- 2 ア・イ・エ
- 3 ア・イ
- 4 イ・ウ・エ
- 5 ア・ウ・オ

(2) 図版DとHの作品に関する説明として正しいものはどれか、正しい組合せを1～5から一つ選べ。

解答番号は 5

- ア 北魏の孝文帝は、仏教の保護に努め、洛陽郊外の龍門山に大規模な石窟寺院を造営した。
- イ 図版Dは、龍門二十品の一つで、僧の張猛龍が亡父始平公の供養のために作ったものである。
- ウ 図版Dと図版Hは、ともに円筆の書き方が用いられていて、力強さと迫力がある。
- エ 図版Dは、文字の字画を残し、その周辺を刻む陽刻という技法が用いられている。
- オ 図版Hは、魯郡の太守であった慧成の徳をたたえて、正光三年（五二二）に建てられた碑で、曲阜の孔子廟に保存されている。

- 1 ア・イ・ウ
- 2 エ・オ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ・エ・オ
- 5 ア・オ

(3) 図版A～Hを古いものから時代順に並べたとき、四番めと八番めになる組合せはどれか、1～5から一つ選べ。解答番号は 6

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| 1 | 図版Bと図版E | 2 | 図版Cと図版F | 3 | 図版Dと図版F |
| 4 | 図版Hと図版E | 5 | 図版Dと図版E | | |

次の(1)～(6)の問いに答えよ。

- (1) 後に示す地図を参考に、次のア～オの説明文について、(A)、(B)に当てはまる語句の組合せとして、正しいものをそれぞれ1～5から一つ選べ。

ア 「九成宮醴泉銘」は地図中の(A)に現存する。また、「泰山刻石」は(B)にある。

解答番号は 7

- | | | | | | |
|---|-------------|-----------|---|-------------|--------|
| 1 | A(③河南省洛陽) | B(②岱廟) | 2 | A(④麟游県) | B(⑥漢中) |
| 3 | A(⑤西安碑林博物館) | B(③河南省洛陽) | 4 | A(⑤西安碑林博物館) | B(⑥漢中) |
| 5 | A(④麟游県) | B(②岱廟) | | | |

イ 地図中の③河南省洛陽の近郊にある(A)には(B)などがある。

解答番号は 8

- | | | | | | |
|---|---------|----------|---|---------|-----------|
| 1 | A(雲崗石窟) | B(萊子侯刻石) | 2 | A(龍門石窟) | B(孫秋生造像記) |
| 3 | A(雲峯山) | B(鄭義下碑) | 4 | A(龍門石窟) | B(鄭義下碑) |
| 5 | A(雲崗石窟) | B(高貞碑) | | | |

ウ 「曹全碑」は地図中の(A)に、王羲之の「蘭亭序(神龍半印本)」は(B)に収められている。解答番号は 9

- | | | | | | |
|---|-------------|-------------|---|--------|-------------|
| 1 | A(⑤西安碑林博物館) | B(⑦国立故宮博物院) | 2 | A(②岱廟) | B(⑤西安碑林博物館) |
| 3 | A(⑤西安碑林博物館) | B(①故宮博物院) | 4 | A(②岱廟) | B(①故宮博物院) |
| 5 | A(②岱廟) | B(⑦国立故宮博物院) | | | |

エ (A)は、(B)の功績をたたえる文を岸壁に刻した摩崖で、陝西省の溪谷道中にあったが、現在は、地図中⑥漢中にある博物館に収められている。解答番号は 10

- | | | | | | |
|---|------------|--------|---|-----------|--------|
| 1 | A(開通褒斜道刻石) | B(楊孟文) | 2 | A(麓山寺碑) | B(李邕) |
| 3 | A(石門頌) | B(鄒君) | 4 | A(始平公造像記) | B(朱義章) |
| 5 | A(開通褒斜道刻石) | B(鄒君) | | | |

オ 孫過庭の「書譜」は地図中の(A)に、欧陽詢「皇甫誕碑」は(B)に収められている。解答番号は 11

- | | | |
|---|-------------|-------------|
| 1 | A(①故宮博物院) | B(⑤西安碑林博物館) |
| 2 | A(①故宮博物院) | B(⑦国立故宮博物院) |
| 3 | A(⑦国立故宮博物院) | B(⑤西安碑林博物館) |
| 4 | A(⑤西安碑林博物館) | B(①故宮博物院) |
| 5 | A(⑦国立故宮博物院) | B(①故宮博物院) |

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：白地図専門店
<https://www.freemap.jp/>

(2) 次の図版の説明として、正しいものを1～5から一つ選べ。 解答番号は 12

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅱ 角井博他著
教育出版 45ページ

- 1 顔真卿が太子小師という官職を授けられたときの辞令書である。
- 2 顔真卿が曾祖父の偉業をたたえるために、その墓のそばに建てた碑である。
- 3 麻姑の事跡と仙道の修行をした麻姑山の仙壇について、顔真卿が書き記したものである。
- 4 顔真卿が顔氏一族の閲歴を書き記したものである。
- 5 長安の千福寺の多宝塔が建立された由来について、顔真卿が書き記したものである。

(3) 次の は、あとの図版を説明したものである。①～⑤に当てはまる語句として、正しいものをそれぞれ、1～5から一つ選べ。

(①) の現存最古の写本の一部である。もとは序と全二十巻を書写した(②)であったと考えられる。後世に断簡(分断された一部)が(③)に伝わったことが名称の由来である。(④)の書と伝えられてきたが、実際は十一世紀中ごろの三人の能書が分担執筆したと推定される。全二十巻のうち、完本は巻五、八、二十の三巻で、三巻とも(⑤)である。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書道Ⅰ 石飛博光他13名著
東京書籍 76ページ

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|-------|---|-------|---|---------|---|---------|---|-------|
| (①) | 解答番号は 13 | 1 | 古今和歌集 | 2 | 万葉集 | 3 | 新古今和歌集 | 4 | 金槐和歌集 | 5 | 和漢朗詠集 |
| (②) | 解答番号は 14 | 1 | 折本 | 2 | 粘葉装 | 3 | 卷子本 | 4 | 継紙 | 5 | 綴葉装 |
| (③) | 解答番号は 15 | 1 | 難波津 | 2 | 音羽山 | 3 | 高野山 | 4 | 香具山 | 5 | 吉野山 |
| (④) | 解答番号は 16 | 1 | 紀貫之 | 2 | 西行 | 3 | 藤原公任 | 4 | 本阿弥光悦 | 5 | 藤原行成 |
| (⑤) | 解答番号は 17 | 1 | 国宝 | 2 | 登録記念物 | 3 | 重要無形文化財 | 4 | 登録有形文化財 | 5 | 登録美術品 |

(4) 次の1～5の説明文のうち、正しいものを一つ選べ。 解答番号は

1 光明皇后が書写した隋末唐初の学者杜正玄・正蔵・正倫の書簡文例集は、宮内庁三の丸尚蔵館にある。

2 「雑集」は、聖武天皇が中国六朝・隋・唐時代の詩文を抄出した書巻。天皇三十一歳の宸筆であり、正倉院にある。

3 「多賀城碑」は宮城県にあり、「多胡碑」は栃木県、「那須国造碑」は群馬県に現存している。

4 「曼殊院本古今和歌集」は、『古今和歌集』巻第十七の一部を書写した一巻の巻物で、京都の曼殊院に伝来する。小野道風筆と伝えられている。

5 「楽毅論」は、東晋の王羲之の作品であり、橘逸勢が臨書したものは、正倉院に伝えられている。

(5) 次のア～オのひらがなの字源はどれか、それぞれ1～5から一つ選べ。

ア「ぬ」 解答番号は

1 努 2 奴 3 如 4 妬 5 妃

イ「ち」 解答番号は

1 故 2 知 3 智 4 遅 5 督

ウ「つ」 解答番号は

1 門 2 郷 3 卿 4 都 5 川

エ「き」 解答番号は

1 遣 2 央 3 機 4 幾 5 畿

オ「ね」 解答番号は

1 祢 2 礼 3 祁 4 祈 5 利

(6) 次の紙の規格について、A～Dに入る語句の組合せて正しいものを、1～5から一つ選べ。

解答番号は

[A]
(約136×68 cm)

[B]
(約136×34 cm)

[C]
(約136×51 cm)

[D]
(約136×17 cm)

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
全紙	聯落	聯落	全紙	全紙
B	B	B	B	B
聯落	全紙	半切	半切	半切
C	C	C	C	C
半切	聯	全紙	聯	聯落
D	D	D	D	D
聯	半切	聯	聯落	聯

「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第10書道」について、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の□は、書道「1 目標」からの抜粋であるが、空欄(①)、(②)に入る、適切な語句の組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は□25

第2款 各科目 第10 書道1

1 目標

(3) (①)に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の(②)、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- | | | |
|---|-------|------------------------|
| 1 | ① 主体的 | ② 文化についての理解を深め |
| 2 | ① 対話的 | ② 多様性などについて幅広く理解するとともに |
| 3 | ① 協働的 | ② 美を味わい |
| 4 | ① 主体的 | ② 伝統と文化に親しみ |
| 5 | ① 協働的 | ② 基礎的な技能を身に付け |

(2) 次の□は、書道「2 内容〔共通事項〕」からの抜粋であるが、空欄(①)、(②)に入る、適切な語句の組合せを1～5から一つ選べ。解答番号は□26

第2款 各科目 第10 書道1

2 内容

〔共通事項〕

表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。
(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 用筆・運筆から生み出される書の(①)理解すること。
イ 書を構成する要素について、(②)理解すること。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | ① 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて |
| | ② 表現性とその表現効果との関わりについて |
| 2 | ① 表現性とその表現効果との関わりについて |
| | ② それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて |
| 3 | ① 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて |
| | ② 書の伝統的な鑑賞の方法や形態について |
| 4 | ① 作品の価値とその根拠について |
| | ② それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて |
| 5 | ① 関連がもたらす働きと関わらせて |
| | ② 表現性とその表現効果との関わりについて |

- (3) 「高等学校学習指導要領 第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」について(A)、(B)の問いに答えよ。

(A) 次の(①)(②)(③)(④)に入る、適切な語句の組合せをⅠ～Ⅴから一つ選べ。

解答番号は 27

Ⅰ 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の(①)学びの実現を図るようにすること。その際、各科目における(②)を働かせ、各科目の特質に応じた学習の充実を図ること。

- (2) Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に、Ⅲを付した科目はそれぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修させることを原則とすること。

- (3) 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた(③)や(④)の工夫を計画的、組織的に行うこと。

- | | | | | |
|---|--------------|----------|--------|--------|
| Ⅰ | ① 特性等を考慮した | ② 見方・考え方 | ③ 指導内容 | ④ 指導方法 |
| 2 | ① 主体的・対話的で深い | ② 感性 | ③ 指導内容 | ④ 学習支援 |
| 3 | ① 主体的・対話的で深い | ② 感性 | ③ 個別指導 | ④ 学習支援 |
| 4 | ① 特性等を考慮した | ② 感性 | ③ 個別指導 | ④ 指導方法 |
| 5 | ① 主体的・対話的で深い | ② 見方・考え方 | ③ 指導内容 | ④ 指導方法 |

(B) 内容の取扱いに当たって配慮するものとして記載されている事項の組合せとして、正しいものを1～5から一つ選べ。解答番号は

28

ア 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、学校の実態に応じて学校図書館を活用すること。また、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用して、表現及び鑑賞の学習の充実を図り、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫すること。

イ 内容の「A表現」の指導に当たっては、中学校国語科の書写との関連を十分に考慮するとともに、高等学校国語科との関連を図り、学習の成果を生活に生かす視点から、目的や用途に応じて、硬筆も取り上げるよう配慮するものとする。

ウ 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、書に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、書の伝統と文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

エ 各科目の特質を踏まえ、学校や地域の実態に応じて、文化施設、社会教育施設、地域の文化財等の活用を図ったり、地域の人材の協力を求めたりすること。

オ 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、作品について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。

1	イ・エ
2	ア・エ
3	ウ・オ
4	ア・ウ
5	ウ・エ

次の(1)～(5)の問いに答えよ。

- (1) 次の図版は、孫過庭「書譜」の一部である。後のア、イの問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：書譜・孫過庭

高橋蒼石著 天来書院

28ページから31ページまで

ア 傍線部は、書作において「合」と「乖」それぞれ五つの条件があり、それぞれの条件に応じて書のできばえが異なることを示している。「合」とは「調子のよい条件」という意味である。その意味をあらわす四文字を五つ図版より抜き出し、楷書で書け。

イ 「心がゆったりして、筆もののびのびと動く」という意味をあらわす四文字を図版より抜き出し、楷書で書け。

(2) 次の図版について、後のア～ウの問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：書Ⅰ 高木聖雨他16名著
光村図書 86ページ

ア この作品の作品名と伝承筆者名を答えよ。

イ この作品は、雲紙に雲母砂子を撒いた料紙に書かれている。雲紙とは何か、説明せよ。
ウ この作品名の由来を答えよ。

(3) 次の図版は呉昌碩の作品の一部である。篆書十字を全て楷書で書け。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：書の古典と理論 小泉茂他著 光村図書 65ページ

(4) 次にあげる旧字体を常用漢字の字体（楷書）で書け。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① 廳 | ② 醫 | ③ 壹 | ④ 假 | ⑤ 畫 |
| ⑥ 盡 | ⑦ 傳 | ⑧ 畫 | ⑨ 缺 | ⑩ 寫 |

(5) 次の①～⑤の説明文について、（ア）～（コ）に入る適切な語句を全て楷書で書け。

① 石碑などの全体を拓本に採ったものを全拓といい、その拓本を切ってはり並べ、携帯に便利ないように装丁したものを（ア）本という。

② 奈良時代、万葉仮名は楷書や行書で書かれることが多かったが、これを男手、または（イ）と呼ぶ。また、平安時代には万葉仮名を草書体で書くようになった。これを（イ）に対して、（ウ）と呼ぶ。（ウ）をさらに簡略化したものを女手と呼ぶ。

③ 江戸時代初期の能書家で、「寛永の三筆」と称されるのは（エ）、（オ）、（カ）の三人である。

④ 「（キ）」は、北周の庾信が文を作り、唐の褚遂良が書したと伝えられている。

⑤ （ク）の「松風閣詩卷」、（ケ）の「蜀素帖」、（コ）の「黃州寒食詩卷」の三巻の書は、それぞれが自書した詩である。（ク）、（ケ）、（コ）の三人は、北宋の三大家と呼ばれる。

